

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		宇宙空間の開発・利用の戦略的な推進			評価方式	実績	番号	8
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度概算要求額		
予算 の 状 況	当初予算（千円）			10,751,792	10,752,362	18,077,216		
	補正予算（千円）			△ 11,812				
	繰越し等（千円）			10,267,851				
	計（千円）	0	0	10,739,980				
		<0>	<0>	<10,739,980>				
執行額（千円）				233,712				
政策評価結果の概算要求 への反映状況								

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	宇宙空間の開発・利用の戦略的な推進					番号	8		(千円)
	予 算 科 目					予 算 額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	25年度 当初予算額	26年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	●	1	一般	内閣本府	宇宙開発利用政策費	宇宙開発利用政策の企画立案等に必要な経費	10,752,362	18,077,126	
	小計						10,752,362	18,077,126	
合計						10,752,362	18,077,126		

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名		宇宙空間の開発・利用の戦略的な推進			番号	8	(千円)
事務事業名	整理番号	予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容	
		25年度当初予算額	26年度概算要求額	増減			
合計							

# 平成24年度内閣府本府政策評価書(事後評価)

(内閣府24-30(政策9-施策①))

施策名	実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用〔政策9. 宇宙開発利用に関する施策の推進〕					
施策の概要	GPS衛星の補完機能(測位可能時間の拡大)及び補強機能(測位精度の向上)並びにメッセージ機能等を有する準天頂衛星システムの開発・整備・運用を実施する。					
達成すべき目標	既に運用している準天頂衛星「みちびき」と合わせ、平成30年度を目途に4機体制の運用を開始するとともに、将来的には、持続測位が可能となる7機体制を目指すこととする。					
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)			10,598,713	10,555,243
		補正予算(b)				
		繰越し等(c)				
		合計(a+b+c)				
執行額(千円)						
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	<p>「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」(平成23年9月30日 閣議決定)</p> <p>「宇宙基本計画」(平成25年1月 宇宙開発戦略本部決定)</p> <p>諸外国が測位衛星システムの整備を進めていることを踏まえ、我が国として、実用準天頂衛星システムの整備に可及的速やかに取り組むこととする。具体的には、2010年代後半を目途にまずは4機体制を整備する。将来的には、持続測位が可能となる7機体制を目指すこととする。</p>					

測定指標	準天頂衛星システムの開発・整備・運用に係る契約締結による事業着手	基準値	実績値					目標値
		23年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	24年度
		契約0件				契約0件	契約3件	契約2件
年度ごとの目標値						契約0件	契約2件	

施策に関する評価結果	目標の達成状況	平成24年度に衛星システム、地上システム等の3件の契約を行うことにより準天頂衛星システムの開発・整備・運用に着手し、目標を達成した。
	目標期間終了時点の総括	<p>【目標の達成状況の検証】</p> <p>平成24年度に契約2件を締結する目標を達成した。</p> <p>【行政事業レビューでの指摘】</p> <p>本事業は専門性が高い仕様であろうが、事業の進捗は確実に把握し、内容の精査をするように努めること。また、今後の執行に当たっては、必ず外部有識者の所見も踏まえ検討をすること。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>準天頂衛星システムは、衛星システムが5年、地上システムが20年という長期契約のため、事業の遂行に向け、監督・管理を実施していく。</p> <p>行政事業レビューでの指摘を踏まえ、事業の進捗を把握し、効率的な観点からも業務内容を精査し、実績を確定することとしている。また、事業の執行に当たっては、外部有識者から所見も得つつ、事業を進めることとしている。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	契約に向けた事業者の選定に当たり、「準天頂衛星システムの運用等事業有識者委員会(委員長:山内弘隆一橋大教授)」及び「準天頂衛星システム開発技術審査委員会(委員長:中須賀真一東大教授)」を設置し、意見聴取を行った。今後の執行においても、外部有識者の所見も踏まえ検討を行う。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	なし
---------------------------	----

担当部局名	宇宙戦略室	作成責任者名	参事官 野村栄悟	政策評価実施時期	平成25年9月
-------	-------	--------	----------	----------	---------